

中野区議会議員 | 博士(工学)

加藤 たくま

みつけよう。みんなの答えを。

Find your answer together.



活動レポート Vol.13



自民党

中野区で高校生まで学び育ち、瀬戸大橋のような巨大構造物建設の夢を持ち、土木工学の道へ。しかしバブル崩壊で希望就職先がなくなるロスジェネレーション。教授の薦めで研究者に。大学助手、国土交通省研究所、シンクタンクを経て、2015年中野区議会議員に。

1979(昭和54)年7月3日中野区生まれ/ O型

家族:妻・長男(3歳) 父:館山市 母:山形市

【学歴】

ほぜんじ幼稚園/ 中野区立仲町小(現・桃花小)/

中野九中(現・中野中)/ 都立富士高/

中央大・大学院(土木工学)/ 博士(工学)

【職歴】

- 中央大教育技術員(いわゆる助手、水循環研究)
- 国土交通省国土技術政策総合研究所(国家公務員、雨雲レーダー開発・災害対策)
- 国土技術研究センター(シンクタンク、気候変動対策)
- 中野区議会議員(現2期、自民党政調会長、情報政策等調査特別委員会委員長)

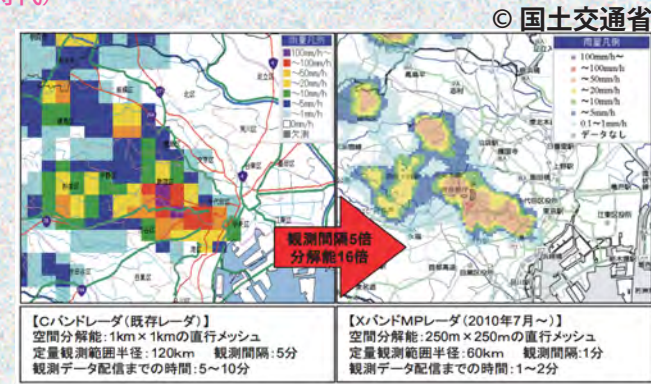
【社会活動等】

- あおいちゃんを救う会(10日間で1億円の募金活動)
- 公益財団法人中野区教育振興会副会長
- 南中野地区委員会広報部長
- 都立富士校アメフト部後援会長
- 中野区ラグビーフットボール協会会長
- 東京JC2018年度中野区委員会委員長
- 第42回わんぱく相撲中野区大会副会長
- TOKYOドローンウェイ研究会
- マニフェスト大賞(第13・15回)ノミネート
- 中央大学理工学研究所客員研究員
- 中野区検定委員 ●中野区ものしり博士取得
- 自由民主党中野総支部政調会長

<加藤たくまの実績>

■雨雲レーダー開発(国交省時代)

現在、スマホアプリで使われている雨雲レーダーの基盤技術の開発に従事。それまでの1kmメッシュから250mメッシュのレーダーへ変更。また観測データ配信まで5分以上かかったものを1分とし、リアルタイムで精緻な情報配信となり、ゲリラ豪雨対応が可能になりました。



■気候変動が河川流量に与える影響評価(国交省・シンクタンク時代)

気候変動の将来予測結果は、大雨の激甚化と無降雨期間の長期化、すなわち洪水と渇水の二極化になる可能性を示唆しています。私が試算した河川氾濫の可能性が将来4.4倍となる結果は、現在でもテレビ、書籍で引用されます。国はこのような研究結果を用いて、政策立案をしており、まさにEBPM(証拠に基づく政策立案)を行うための専門機関で政策力を磨きました。



■あおいちゃんを救う会

海外における心臓移植に必要な費用1億円を募るため、当時まだ存在していなかったクラウドファンディングの概念を創り出し、10日間で完結しました。活動を通じて説明責任を果たすことで、支援者が増えることを実感。何をしても自分の信念、事業の妥当性をしっかりと説明できることが重要であることを理解しました。

■中野区内におけるイノベーション創生(区議会議員として)

待機児童、コロナ、子育て環境、防災、医療・介護など数々の区政課題に立ち向かうことは議員としての責務であり、ほとんどが議員全員の実績です。ちなみに私は議会で質問時間No.1であり、あらゆる課題に言及してきております。

そこで私一人がやった実績を挙げれば、「科学技術の社会実装」です。都市部でドローンの飛行ルート確立のため、中野サンプラザ・神田川等で社会実験を行い、ドローン飛行の資格創設の一助となりました。また世界最先端の浸水予測シミュレーションを活用した安心安全まちづくりを行ってきました。



「みつけよう。みんなの答えを。」

インターネット・SNSの普及により、様々な価値観が顕在化・表面化しました。民主主義としては歓迎すべきですが、一部論争においては社会を分断しかねない状況です。政治は次のステージに進み、全員が「納得」と「共感」ができる結論を導く必要があります。

私は一児の父として、子ども世代も「住み続けられるまち」を創ります。多様な子育てニーズへの対応、幅広い世代に寄り添う医療・介護の拡充を行うにも、財源・資源・人材には限りがあります。私はこれまで、業務において、少ない費用で多くの成果を出してきました。その経験をもって、区政においては税金の無駄遣いをなくし、最適で健全な経営に向けた施策立案や、行政へのチェック機能という一議員として極めて当たり前の責務を、十二分に果たしていきます。

【加藤たくまの政策：3つの基本方針】

1 アイディア・イノベーションによる諸課題の解決!

最新の科学技術を社会実装することでイノベーションを巻き起こします。全国・世界が驚くアイデアを生み出すために、行政が規制緩和を進め、新たな技術革新を促す実験フィールドを作ります。

発想を駆使したゼロ円政策の立案 DX・ドローン等による区政課題解決

2 科学的知見に基づいた政策判断!

感覚ではなく、科学的根拠に基づいた政策を語るべきです。世論はゼロリスクを求めがちですが、ともすれば予算や経済を度外視する結果になります。

科学技術をもって、適切な判断基準をつくる必要があります。

予防医療の推進による医療費の削減 ノスタルジーを踏まえた合理的な判断

3 子ども・若者が主役になる社会の創造!

地域ぐるみで子どもを見守る、安全安心なまちを作ります。不確実な世の中を生き抜くための様々な経験ができる環境整備を行います。

また、地域力を高めるために、若者を中心とした人材発掘にも取り組んでいきます。

地域デビューの枠組みづくり エリアマネジメントの推進

区政運営は企業と同じで「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の4つの柱が重要です。運営を間違えれば、夕張市のように自治体といえども破綻します。それぞれの柱をビルドアップ、ブラッシュアップすることで持続可能な区政運営が可能となります。

持続可能な 中野区政運営

区の運営に必要な4つの柱 ヒト モノ カネ 情報

- 情報分析・AIによる
施策の合理化
- ICTを活用した
安全・安心まちづくり
- 中長期的な財政運営
- 直近の財政課題への対応
- 強靱なまちづくり
- 楽しめる公共施設整備
- 中野区役所内の働き方
地域力の向上
- 若者参画による

中野区役所内の働き方改革

区職員のやる気上がる職場環境づくりの推進!!

○人事評価システムの改善

公務員には経営的概念はないため、ミスがないことが美德となり、新たな挑戦をしない職員ばかり。チャレンジした職員が評価されるシステムに!

○自治体DX推進による働き方改革

私が情報政策等特別委員長として進めてきた区役所へのMS365導入により、コミュニケーションの効率化を図ることで、質の高い業務とし、生まれた余力を区民サービス向上へ!

○ダイバーシティマネジメント(多様な価値観)

一家団欒でテレビを見ていた時代から、各個人がスマホで情報を得るようになり、価値観は多様化しました。価値観を一つにはできませんが、目標を一つにすることは可能です。



記事をチェック!

若者参画による地域区の不作為で

地域力向上のため、若い力・担い手の育成・発掘をします。

○子どもを産みたいと思える自治体

中野区は出生率が最低ランク自治体です。賞与型奨学金制度を確立し、先行き不透明な時代に安心して子どもを産める環境をつくります。また区民ニーズを踏まえ、子どもたちを育てやすい環境づくりに努めます。

○郷土愛を育む教育

中野の素晴らしい歴史を小中学生に学んでもらい、郷土愛を育みます。中野が好きだ、となるように!

○地域デビューの入口の創出

中野区は年間人口の10%が入れ替ります。区への転入者が地域デビューしたくなる、その入口を創ります。地域の飲食店から始まる好循環なコミュニティーづくりを進めます!



記事をチェック!

強靱なまちづくり

地震、台風が常襲する日本において、有事に対応。

○新・区役所の整備

令和6年に完成する新・中野区役所ですが、大きな変革を恐れた職員の設計思想が強く、区民目線が弱い。最後まで議論を重ね、区民ファーストの庁舎へ!

○小中学校等再編・改修

区の不作為で遅延が続いております。子どもたちの教育環境、有事の際の拠点として、地域の声を踏まえて整備促進します。

○ノスタルジーの成仏の提唱

中野サンプラザ解体、桜を代表とする既存樹木の伐採は住民の関心事であります。社会的情勢に合わせず、放置することは行政の不作為となるため、納得と共感を得られるように代替案を提示していきます。



記事をチェック!

楽しめる公共施設整備

多様なニーズに対応した楽しい施設整備を目指します。

○新・中野サンプラザ

再整備がまもなく始まる新・中野サンプラザはランドマークとしての存在だけでなく、区民が楽しく利用できる施設に!



記事をチェック!



○公道利用の規制緩和

車の交通を遮ることで生まれる神輿渡御、出店などの非日常空間はワクワク感があり、テラス席等の開放でにぎわいを創出します。

○楽しい公園へ

平和の森公園にBBQ場の導入(実績)。現在の四季の森公園のイベント広場は中学校隣接のため飲酒、騒音が禁止。イベント広場のレイアウトチェンジで問題解決し、ワクワクする公園に。



中長期的な財政運営

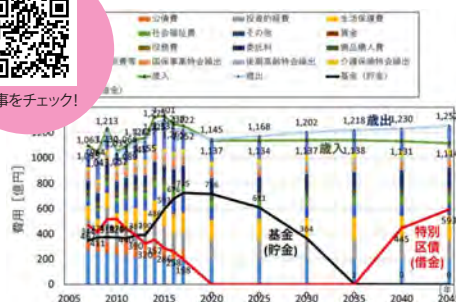
少子化による歳入の減少、高齢化による歳出（社会保障費）の増加に対する備えがさらに必要です。

○財政基盤の構築

地方自治体の財政において、中長期的な予測がされた例はないため、日本初のオープンデータを活用した自治体財政のマクロの将来推計手法を提案し、議会で議論(実績)を重ねてまいりました。



記事をチェック!



○予防医療推進による医療費削減

大阪警察病院は、歯科医療および口腔機能管理の充実による医療費削減が期待できるとの研究結果を報告しております。

「口の健康が体全体の健康」を合言葉にこれを推進します。

またスポーツにおいても野球ひじ健診を開催する(実績)など、予防医療に力を注ぎます。



記事をチェック!



直近の財政課題への対応

今、直面している問題への対策が必要です。

○ふるさと納税制度反対

東京都のすべての自治体でマイナス効果をもたらす「ふるさと納税制度」に断固反対です。しかし指をくわえて減収とさせるわけにはいかないため、中野区が誇るアニメとの連携を図り、制度に対して抗います。

○民間活力を活かした施設整備

民間が大規模開発を行う場合には公共貢献施設(防災倉庫、子ども施設、福祉施設等)の整備を条件に容積率を増加させる制度をつくります。

情報分析・AIによる施策の合理化

区には多種のアンケート調査があり、そのデータを分析することで施策の合理化を図ります。

○官民データ推進活用法

国の法律では個人情報保護の下、データ分析を推進しています。中野区の持つ子育て、医療、福祉、介護など様々なデータを分析し、予算・人的な配分などを根拠をもって、政策として推進いたします。

○AI・IoTの導入推進

自動改札機の登場は人から仕事を奪ったわけではなく、人を地獄のような作業から解放しました。機械ができる仕事はできるだけ移行を推進します。

ICTを活用した安全・安心まちづくり

イノベーションを創造しながら、区民の安全安心に資する技術開発・導入を推進いたします。

○災害予報情報の拡充

ソフト対策として、災害予報情報が得られる環境を創造し、避難を誘導します。そのための社会実験は地域の皆様のご協力により、マニフェスト大賞ノミネートとなりました。



記事をチェック!



○イノベーションを創造できる環境づくり

様々な技術革新ができる土壌を作り出し、ワクワクする中野に。これまで中野サンプラザ、神田川をフィールドとしてドローンの実証実験を行いました。都市部におけるドローン飛行ルートの確立に向けて、中野区内で社会実験を進めております。



記事をチェック!

